

# 一般質問通告事項一覧表

平成27年 第1回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
1	森下 義照	平成 27 年度町政執行方針と町長の公約の取り組みについて	<p>この度の町長選挙において、見事当選をされ若さあふれる気概をもって、次のような公約を述べられ、実現力の発揮を示そうとする姿はすばらしいものと察します。また、町民の目線にたって是非、叶えていただきたいものです。</p> <p>では、公約（子育て支援策、高齢者、障がい者支援策、農業支援策、観光商工業支援策、行政改革、未来に向かって）など述べられておりますが、今町民が望んでいる声をくみ取り、若き実現力でそれぞれの公約を町政執行方針にもりこみ、「ふれあい豊かに質の高い暮らしと文化があるまち」未来に繋がる「まちづくり」をどの様に実現していくのか具体的にし、いかに町民に浸透させ信頼しあい、つながりあい、協調、協働して夢と希望に満ちた郷土・俱知安町を築き上げようとするのか伺います。</p>	町長	
2	鈴木 芳幸	やさしさとおもいやりのある町へ	<p>過去に福島町長へ質問させて頂いた事もありました、福祉センターにエレベーターを設置して頂きたい。高齢者の方や障がい者の方々が、たびたび二階ホールでいろいろと展示される子供達の絵や習字、工作物、等々いろいろな催しがありますが、障がいを持たれた方は二階へ上がる事ができません。お年寄りの方々は、特にお孫さんの作品等を見たいと思う意思を強く持たれると思います。私も孫の成長、テスト等の結果又そういった物が見たいと強く思います。</p> <p>こういったお年寄りや障がいを持たれた方々への思い、願いをかなえてあげて下さい。いかがでしょうか。はっきりとしたご返事を頂きたいと思えます。西江町長へ私から最初で最後の質問ですので、宜しくお願いします。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
3	盛多 勝美	新駅周辺整備にかか る積み立て	<p>新幹線は、平成 48 年開業の予定から 5 年前倒しを決めたところで、早期開業に向け国の予算確保と早期完成に向けた要望活動を一層の強化と本年度も引き続き、新幹線のまちづくり検討委員会において構想や整備計画立案に向け作業を進めると、町長は述べられています。</p> <p>着実に目的に向かって検討されていると推察いたします。</p> <p>駅周辺の整備や国道などからの交通アクセスなど、将来に多額の財源が必要と予測されます。その為の目的積立金のような資金の確保が必要と考えます。可能なのか、町長のお考えをお聞かせください。</p>	町長	
4	樋口 敏昭	人口減少対策につい て	<p>我が町も 2040 年には人口が 12,000 名になるとの推計が出されている。後志の中核地として発展を続けていく為にも、微増であっても増加傾向を維持させる必要があると考える。そのためには、若い世代の定住人口を常に維持させなければなりません。その観点から町長に伺います。</p> <p>1、子育て世代に配慮した住宅政策は、どのように進めていきますか。</p> <p>2、保育時間の延長は利用者の希望を充足させつつ、保育士の労働環境にも配慮して進めるべきと思うが、具体的対策を伺う。</p> <p>3、雇用も無ければ人口増加に結びつかないが、新たな雇用の発掘に行政として、どのように取り組みますか。</p>	町長	
5	笠原 啓仁	「役場機構改革」 目的と特徴は何です か	<p>町長はこの 4 月から部長制を廃止した役場の新たな機構をスタートさせる予定のようです。以下の点について町長の考えをお聞かせください。</p> <p>① 町長はこれまで、部長制のもとで職員として仕事をされてきました。その町長が部長制を廃止するということは、役場職員が仕事をする上でやはり部長制は「弊害」だったと感じていたのでしょうか。町長はこれまでの部長制をどう総括していますか。</p> <p>② 部長制の廃止を含め、役場機構を大きく変えられるようです。予定されている機構改革の目的と特徴はなんですか。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
6	笠原 啓仁	「原発再稼働」 本町として反対すべきです	<p>3月9日・10日付の道新で、泊原発の災害時における避難計画の有効性などについて識者の見解が紹介されていました。「道や地元町村が策定している避難計画では、過酷事故に対応できない」という内容です。そこで以下の点についてご説明ください。</p> <p>①本町の避難計画の検証 「わが町の原子力避難計画はまだまだ十分なものではない。今後、よりよいものにしていきたい。」これまで何度か質問してきた私に対する担当課長の答弁です。「よりよい計画」を作るためにも一度、道新で紹介されていたような専門家を入れて、本町の計画を検証してみたいはいかがでしょうか。</p> <p>②再稼働に対する反対表明 私は「計画が不十分なうちは再稼働に反対すべき」とこれまで何度となく町長に言ってきました。前町長はどっちつかずの表現をしていましたが、本町の環境基本計画策定にも関わってきた現町長としては、原発に対してそれなりの認識をお持ちだと思います。原発は、生活や環境などすべてを破壊します。30km圏内に位置する本町として、泊原発の再稼働に反対すべきだと思います。いかがでしょうか。</p> <p>③本町も「地元同意」の対象に 道や国に対して本町が「地元同意」の対象自治体となるよう強く要求すべきです。町長にその考えはありませんか。</p>	町長	
7	〃	「子育て（ち）支援」 きめ細やかな対応を	<p>新町長は子育て支援に力を入れられるようです。新たな子ども・子育て制度のもと、本町においてもさまざまな取り組みや準備が進められています。以下の点についてお聞かせください。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(7)	(笠原 啓仁)		<p>前頁より</p> <p>(1) 新たな子育て制度            新たな保育所の設置、幼保一体化・認定こども園については、3年後のスタートをめざしています。次の点はどうなっていますか。            ①新制度スタートに向けた諸準備の進捗状況。            ②保護者への説明・周知状況。            ③民間3幼稚園に対する支援策等。</p> <p>(2) 「子育て」環境の整備            ①絵本館・世代交流センターの老朽化対策            新年度予算で一部修繕費が計上されていますが、それ以外に予定しているものがあればご説明ください。            ②放課後児童クラブの充実            これまで時間延長をはじめ、運営の改善を求める保護者からの意見・要望が多く出されてきました。新年度においても一部見直しが行われるようですが、運営の充実・改善に向けてどのようなことを考えていますか。</p>		
8	〃	「落雪事故防止」未然に防ぐ体制の整備を	<p>先日、「居住家屋の屋根からの落雪がもうちょっとで通行人にぶつかる場所だった」と、たまたまその現場を見かけた町民からの話を聞きました。豪雪地帯である本町にとって、家屋を含む建築物からの落雪による事故は無視できない問題です。電柱、信号などの構造物に限らず、空き家や居住している家屋からの落雪も事故につながります。事故防止に関し以下の点についてご説明ください。</p> <p>①落雪事故防止に向けて実施している現在の対策。            ②居住家屋からの落雪による事故防止対策。            ③「落雪見回り隊」のような組織の設置はできないかどうか。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
9	竹内 隆	原発30キロ圏内の稼働についての同意義務づけについて	<p>原発30キロ圏内市町村の原発稼働や再稼働の同意を義務づける法案が国会で協議されています。この30キロ圏内市町村への同意権の付与について、町長はどう思いますか。</p> <p>又、同意権が付与された場合には、原発稼働・再稼働についての町としての意思をどのように形成させていくのかについて、どう考えますか。</p>	町長	
10	〃	エリア・マネジメント事業について	<p>「エリア・マネジメント事業について」という福島町長のまとめをあなたはどう思いますか。そしてこの中の最後の部分（まとめのまとめ）である「地域として、組織の立ち上げと事業の推進に向けて、さらなる協議と合意形成に努めていただきたい」とあなたはこのような福島町長の最後のまとめにどう応えていくつもりですか。</p>	町長	
11	〃	ゴミ焼却施設について	<p>旭にあるゴミ焼却施設については、伊藤町長の時代に現地の住民との間で協定書が締結されて、施設の撤去が約束されています。町としてどのような形で現地との「協定」を実現していくのか、ご説明下さい。</p>	町長	
12	〃	学童保育について	<p>ニセコ町では、学童保育の6年生までの保育延長などの改善策が新年度に予定されていると新聞報道されました。</p> <p>本町でも保育延長など学童保育に対する町民要望が強いのですが、町長はどう考えますか。</p> <p>また、土曜日保育がこれまでの3カ所から1カ所に集約されましたが、何故ですか。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
13	磯田 龍一	公約に掲げた政策の 実行と当面の課題に ついて	<p>多くの、町民の熱い支援と支持を得て、西江新町長が誕生し、心よりお祝いを申し上げます。</p> <p>選挙を通し町民に訴えた多くの公約を、着実に実行する手腕が問われています。</p> <p>厳しい本町財政の中、より一層の選択と集中で予算の効率化を図り、財政の健全化が重要な課題であり、今後の本町の目指すべき、当面の取り組みとの整合性を求めるものであります。</p> <p>本町に於ては、夢のあるプロジェクト「新幹線・高速道路」の実現が待たれており、観光をはじめとする、経済の好循環、交流人口の拡大に伴う町中の賑わい等地域の活性化に多大な期待が懸かっています。</p> <p>これら、次の点について具体的にお尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 公約の実行に向かって、ビジョンと抱負をお聞かせ下さい。</li> <li>2) 急速に進む少子高齢化社会の進展を見据えて、集落での対応と支援にどう向き合うか。</li> <li>3) 財政の硬直化を廃し、当面の課題を精査し将来の展望を着実に実行する為の方策は。</li> <li>4) 将来展望の中で、基幹産業の「農業」の位置付けをどの様にお考えか、お尋ねいたします。</li> </ol>	町長	
14	〃	地域公共交通活性化 再生法について	<p>「地方創生」の一環として、国土交通省は本年度、独立行政法人を通じて地方の鉄道、バス事業者などに出資し、公共交通の刷新を後押しする制度を設ける。</p> <p>補助金による従来の支援策に比べ「資金の使い道の自由度が高くなり、利便性の向上が期待できる」との声もあり、国が地方の公共交通事業者に出資する制度は初めてである。</p> <p>財源には財政投融资を活用、鉄道建設・運輸施設整備支援機構を通じて資金提供、機構と地元自治体、企業などが会社を設立して、車両を保有・管理しリースすることで、事業者側の負担を軽くできる仕組みも設けることとなっている。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(14)	(磯田 龍一)		<p>前頁より</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 制度の概要は</li> <li>2) 本町での導入にメリット、デメリットは</li> <li>3) 郊外（集落）に於ける、通院・買い物難民・高齢者の交通手段として可能か</li> </ol>		
15	佐名木 幸子	文化福祉センターにエレベーターの設置を	<p>このセンターは、公設の中でも中心的存在であり、多彩な行事に広く活用されて、地元住民は勿論のこと、他市町村からも大勢の人たちに利用されております。</p> <p>3年前にはトイレも和式からすべて洋式に改修され、特に足、腰の弱い高齢者に喜ばれており、またベビーシートやベビーチェアの設置では、小さい子供を育てるお母さんに配慮されています。</p> <p>部分的に改修しながらも、大事に使用したいセンターであると思いますが、ここ数年前からエレベーターの設置を、との声が高齢者の方々から届いているところであります。腰痛や足の痛みで、階段の利用が苦痛であることを何度も伺っており、これから増加し続ける高齢者人口を考える時、また身体弱者の人たちに対しても必要であると思います。ご配慮、ご理解を頂き、エレベーター化のご検討、ご所見をお伺い申し上げます。</p>	町長	
16	〃	不妊治療費の助成について	<p>少子化対策事業の中でも、子どもを産む環境づくりは最優先の取り組みだと思えます。しかし、子どもを望んでも不妊治療をしなければ叶わない女性もおります。</p> <p>人工受精、体外受精、顕微受精と、どの不妊治療にしても高額で、しかも医療保険が適用されない点では大変な悩みであります。今、新町長体制となり、少子化対策では乳幼児医療費助成制度が拡大され、また中学生までの医療費無料化と、子育て家庭にとっては朗報であり、更に出産計画にも明るい希望が湧いてきたとの声もございます。</p> <p>そこで、不妊に悩む夫婦にも明るい兆しとして、安心して治療を受けられるよう治療費の一部助成を少子化対策の一環としてお考え頂きたいと思う訳ですが、ご見解を賜ります。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
17	原田 芳男	暮らし福祉守る町の政治を	<p>町長は、新年度予算に長年日本共産党倶知安町委員会が提出した予算要望書で求めてきた、中学生までの医療費無料実現の予算を計上されました。その点は高く評価し、お礼を申し上げさらなる政策展開を求めるものです。</p> <p>現在、消費税の引き上げや円安による物価の上昇、介護保険料や国保の介護分などの引き上げなど、負担が増すばかりです。</p> <p>一方、年金の引き下げや所得の目減りなどで暮らしが苦しくなったと感じている人が、私たちの行った町民アンケートでも70%以上になるなど地方経済は厳しい状況になっています。</p> <p>このような時こそ、暮らしを守る防波堤としての町の政治が求められます。</p> <p>1、町民の暮らし福祉守る町の政治への取り組みを求めます</p> <p>①介護保険は、基本階層で1000円以上の引き上げです。町として激変緩和措置を講じ、引き上げ額の縮小をすべきではないでしょうか。</p> <p>②国民健康保険の負担は限界を超えています。借金をしなければ支払出来ない人や一度滞納すると支払不可能になるなど、社会問題化しています。</p> <p>一般会計からの繰入で国保税の引き下げを求めます。</p> <p>③町長選挙における公約は、どのように実現しますか。</p>	町長	
18	〃	泊原発の廃炉を目指す取り組みを求めます	<p>町長は公開質問において、泊原発の再稼働、廃炉については再稼働を容認するかごとき回答でした。</p> <p>4年前に起きた福島原発事故によって、いまだに故郷に帰還できないひとが多くいます。</p> <p>住民の多くは、泊原発が暮らしの脅威と感じています。廃炉を求めるべきではないでしょうか。</p>	町長	
19	〃	福祉ハイヤーの充実	<p>1、町長は、日本共産党の町長選挙における公開質問に対して、福祉ハイヤーの充実の検討を約束されました。どのように取り組みますか。</p> <p>2、30枚に戻し、所得制限の撤廃を求めます。</p>	町長	



番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
20	原田 芳男	軒先の除雪について	<p>倶知安町に住み続けるには、雪の問題の解決は重要な課題となります。 特に道路除雪の時、両脇に押しつけられた硬い雪は、高齢者にとって苦 労となっています。 三笠市のように町が援助する政策の実現を求めます。</p>	町長	
21	〃	フッ化物洗口はやめ るべきでは	<p>フッ化物洗口の予算が新年度予算に組み込まれています。 フッ化物洗口に使われるフッ素は毒薬であり、その取扱いには本来資格 が必要となります。 又、その効果に対しても根拠が示されていません。危険であり、効果も 確認されてしないことから中止を求めます。</p>	町長 教育委員長	
22	榊 政信	ひらふ高原観光中核 施設の整備は慎重に	<p>平成 26 年 1 月に報告された「ひらふ高原地域活性化事業計画及び観光中 核施設基本計画」に基づき「ひらふ高原観光中核施設」整備の実施設計が 新年度に計画され、予算も計上されている。同年 3 月に報告された「国際 リゾート地形成推進検討調査報告書」における事業スキームの検討による と、官民連携の事業運営を想定しており、底地の町有地を定期借地契約と し、建物は民間事業者が建設し、建物の一部を町が買い取り、民間交番や 郵便局・観光案内所などの公共的なサービスを担い、飲食・物販・宿泊と 言った収益部分は民間が行い、施設全体の維持・管理・運営を指定管理者 で行うとなっている。また、基本計画では 6 階建て約 5600 m<sup>2</sup>の建物とな っている。 官民連携のそれぞれの役割分担はどのようになるのか。民間事業者の選 定はどのように行うのか。事業費の規模は、どの程度なのか。町の負担金 額や財源はどのようにするのか。運営計画は作成されたのか。具体的に説 明をお願いします。 また、官民連携を想定しているのに、パートナーも決まらないうちに町 が先行して実施設計を行うのは、時期尚早と思うが、ご見解をお聞かせ下 さい。 次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(22)	(榊 政信)		<p>前頁より</p> <p>「ひらふ高原観光中核施設」の必要性は、充分認識しており、商業的要素も多い施設となるので、綿密な事業計画が不可欠であり、事業者選定も競争入札方式ではなくプロポーザル方式が相応しいと思うが、ご見解をお聞かせ下さい。</p>		
23	〃	お年寄りに優しい住まい	<p>町長は「おとしよりにやさしく、若者が躍動するまちづくり」を政策の柱に掲げています。</p> <p>その施策のひとつに、中心市街地に高齢者住宅を建設し、雪の心配のない暮らしを実現することが挙げられています。新年度に住生活基本計画の見直しが行われる予定となっているので、具体的にはその見直しのなかで提案されると思いますが、現時点での町長のお考えをお聞かせ下さい。</p> <p>1 戸建の住まいで暮らしている高齢者の方は、歳と共に冬期間の除雪が苦になり、雪のないところや子供さんのところなどに転出される事例が増えております。町に留まる方も集合住宅などへの住み替えを望む方も多数いらっしゃいます。1 戸建ての住まいを子育て世代に賃貸や売却し、集合住宅に住替える、住替え促進施策も要望されています。町営の集合住宅も、町自らの建設ではなく、民間による一定水準のアパートやマンションを町が借り上げて、高齢者住宅とする。維持管理は、民間の大家さんが行うといった手法もあり得ると思いますが、町長のご見解をお聞かせ下さい。</p>	町長	
24	〃	外国人が多く住む多文化共生型のまちづくり	<p>今シーズンのニセコひらふは、延べ宿泊者数が最大の 40 万人を超えるほど活況を呈しております。1 月の外国人の住民登録者数も 800 人を超えて、本町の人口も 1 万 5 千人を割らずに推移しています。雪のシーズンだけではなく、夏でも 300 人弱の外国の方が町に住んでおります。これらの方は、一時就労ではなく、定住に近い形で住んでおり、外国籍の町民と言えます。住まいも、市街地の 1 戸建の住宅やアパートに暮らしています。</p> <p>日本人の町民も既に、外国人が周りで暮らしていることを違和感なく普通のこととして受け入れてきていると思います。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(24)	(榊 政信)		<p>前頁より</p> <p>これまで、国際リゾート地として、観光のお客さんという視点で外国語表記などの対応を取ってきていましたが、町内で一緒に暮らしている住民としての係わりや対応が必要となってきています。例えば、日々のゴミ出しや除雪に雪下ろしなど、いち住民としてルールに則った日常生活が求められます。また、町内会への参加やまちづくりにも参加してもらわなくてはなりません。そのためには、日本人住民の視点だけではなく、外国人住民の視点も入った多文化共生型のまちづくりも取り入れていかねばならないと考えます。</p> <p>外国人住民がより安全で安心して暮らせる町は、日本人住民にとっても安全で安心して暮らせる町だと思いますが、町長のご見解をお聞かせ下さい。</p>		
25	田中 義人	公共施設の更新について	<p>役場庁舎を始めとする多くの町営公共施設が更新時期を迎えております。</p> <p>前町長は「財政健全化町政」という路線で進み、住民の皆さんに不便を掛けながらも、公債費比率を12%以下へと大幅に下げてくださいました。</p> <p>今後、更新が必要な公共施設は、喫緊のところでは給食センターや新保育所。また、耐震強度が基準を著しく下回り、雨漏りしている役場庁舎など言い出したらキリがないほどです。</p> <p>そして一つでも舵取りを間違えると、8年間で返した町の借金が一瞬で水の泡と化してしまう程その費用は莫大なものです。</p> <p>私は以前からご提案申し上げているように、これら施設の更新は、出来る限り官民連携で進めるべきだと考えております。</p> <p>メリットとしては、公債費比率を上げずに済み、建築コストも民間の方が安くすみます。また、運営も民間に任せられる事業が増えております。そうする事で庁舎にマンパワーを集中させる事も出来ます。</p> <p>今後の公共施設の更新とその手法について、西江町長の見解を伺います。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
26	田中 義人	広域観光連携 ニセコ観光局について	<p>これまで、長年取り組んでまいりましたニセコエリアの観光広域連携組織「ニセコ観光局」について伺います。</p> <p>H26年度、法定外目的税の創設についての調査業務をコンサルタントに発注する目的で、ニセコ町と併せ予算計上されておりました。</p> <p>ニセコ観光局は倶知安町とニセコ町に併せ、両町の観光事業者や観光協会も参加して、これまで数年間議論されてきた重要な協議会でした。しかし平成26年度に入りその活動は鈍化。僅か2回ほど集まり、重要な論点も提示されずに、参加者からは疑問の声も上がっていました。</p> <p>そんな中、重要な事業であったはずの「法定外目的税」の調査事業が行われず、またその報告も無く、今回の3月定例でマイナス補正として全額執行残として計上されました。これと同じ事は、お隣のニセコ町でも行われているはずですが。</p> <p>まずは、なぜこのような事態になったのか。そして何故関係者に報告も無いのか説明を求めます。</p> <p>来年度からは新町長の下で仕切りなおしとなりますが、町長のニセコ観光局に対する見解を伺います。</p>	町長	
27	〃	役場の新体制について	<p>平成27年度の予算編成について、着任されたばかりの西江町長の意向を反映させ、色を出す事は、時間的に難しかった事と思います。しかし、新年度が始まろうという中で新しい副町長も着任され、新体制について多々考えを巡らせている所と思います。</p> <p>平成28年度からは、地方公務員法の改正による人事評価制度が始まります。平成27年度はその準備期間と定められておりますが、制度をポジティブに受けとめ、職員が能力を最大限に発揮できる仕組みづくりの年と捉えるべきと考えます。そこで、西江新町長に次の見解を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新体制として、部や課の編成、機構改革をどのように進めるのか。</li> <li>2 他の自治体では、職員による政策発表会などの機会を設けることで、評価と意欲の向上を図っているという事例もありますが、そのような取組みを倶知安町で行う考えはありますか。</li> </ol>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
28	阿部 和則	保育所建設の工程表は	選挙公約にも挙げた幾つかの公約の中で、大きな柱の一つに保育所の建設があります。しかも平成30年度までの期限付きです。該当する世帯は心待ちにしていることと思います。「子ども・子育て支援法」と整合性を取りながら進めていることと思いますが、一度、建設までの工程表を町民に説明すべきだと思いますがいかがでしょうか。	町長	
29	〃	市街地がひらふの二の舞になる前の防御策について	新幹線開業が15年後に迫り、新駅周辺の再開発について官民挙げての議論が深まってきました。 一方で、ひらふ地区の不動産投資も活発で、地価の値上がりが再燃し、従業員アパートや事務所は、地価の安い市街地に建てる動きが広まってきました。このままでは、市街地もひらふの二の舞になることが懸念されます。外国人や投機目的の人が取得してしまっただけでは開発が難航するのは目に見えています。今から防御措置を取らなくてははいけません、町長の具体的な防御策をお示しください。	町長	
30	三島 喜吉	子育て支援対策について	倶知安町の65歳を超える人口が23%と、北海道で8番目に若い世代が活躍している町であります。このことは我が町にとって、大きな原動力となっております。町長の公約でありました、中学生までの医療費無料化も平成27年度予算に反映され7月1日から実施になる予定であり、子育て中の若いお母さん方から大きな賛辞があがっております。倶知安町で1年間に生まれるお子さんが170名から180名を推移しており、倶知安町の規模で自然増が亡くなる方を上回るのは北海道で3町村しかないと言われております。 私は、子育て対策の充実が若い方々が増え、人口減対策にも良く反映されていきますし、しいては高齢者対策・経済対策にも確実に充実されていくものと思っております。保育所及び保育所サービスの充実や若い方々の低家賃住宅の充実など子育て支援対策の課題が数多くありますが、倶知安町の子育て支援に向けての町長のお考えをお聞かせください。	町長	

番号	氏 名	質 問 件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者	メ モ
31	三島 喜吉	旧東陵中学校跡地対策と障がいをもつ子ども達の後期中等教育について	<p>旧東陵中学校跡地をどのように位置づけるか、結論がでないまま2年が経過しようとしております。このことは、これ以上先延ばしすることには限界がきております。今まで保育所・老人住宅・専門学校の誘致など数多くの方策が検討されてきております。</p> <p>10年程前から、障がいをもつ子ども達の保護者の方々から要望やご意見を頂いておりますが、中学校までは特別支援学級に通学しながら教育を受けておりますが、高校進学の際に地元を離れて進学をされるケースが多いとも聞いており、このことが保護者の負担増にもつながっております。</p> <p>私は、学校跡地は学校として使っていくことが一番良いと思っておりますが、障がいをもつ子ども達の後期中等教育の場として東陵中学校の跡地を利用できないかと思っておりますし、高等養護学校の誘致を検討していくことができないか、町長のお考えをお聞かせ頂きたいと思っております。</p>	町 長	